第１号様式

システム導入事業計画書

**１　申請者の概要等**

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 法人名 | (法人の場合に記載) |
| フリガナ |  |
| 屋号 |  |
| フリガナ |  | 役職 |  |
| 代表者氏名 |  |
| 事業所所在地 | 〒　　　- |
| 従業員数 | 　　　　　　　　　　　　　　 | 補助申請事業の業種（大分類）**（要綱別表参照）** |  |
| 企業概要 |  |
| フリガナ |  | 所属・役職 |  |
| 担当者氏名 |  |
| 連絡先住所等 | 〒　　　-　　 |
| T E L/携帯 |  |
| F A X |  |
| E-mail |  |
| URL |  |
| 本申請が「サービス等生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）」の対象外となる理由 |
|  |
| システムカイゼン補助金の利用履歴について　　**※該当するいずれかの□をクリックしてチェックを入れてください。** |
| [ ] なし 　[ ] 令和３年度ものづくりシステムカイゼン促進支援補助金　　　　[ ] 令和４年度システムカイゼン促進支援補助金 |

**※利用歴がある場合は、これより下の項目に記載する際、前回の申請と今回の申請の違いが明確になるように記載してください。**

**２　事業内容**

|  |  |
| --- | --- |
| システム名称 |  |
| ベンダー名称 |  |
| ベンダー事業所所在地 | 〒　　　- |
| TEL／携帯 |  |

**※以下、記載要領を参考に図や数字を交えて、詳細に記載してください。**

**※必要に応じて枠を拡張して記載してください。**

|  |
| --- |
| 1. 現在の自社の事業状況、現状分析、目指す姿、課題について
 |
| 【自社の現状、分析、将来的に目指す姿及び課題等について記載してください。】※記載要領参照 |
| 1. 上記①の課題に対する解決策について
 |
| 【上記課題の解決や目指す姿に到達するために取り組んでいる、取り組もうとしていること、またそのうち今回導入するシステムで何をどう解決できるのか等について記載してください。】※記載要領参照 |
| 1. 自社のシステム導入・運用状況について
 |
| 【現状どのようなシステムを導入しているか、またその運用状況について記載してください。】※記載要領参照 |
| 1. 本事業の具体的な内容について
 |
| 【導入するシステムについて詳細を記載してください】※記載要領参照・ソフトウェア・システム導入費、サービス利用、専門家等毎に記載 |
| ⑤システム導入における検討から導入、運用までの実施体制及び実施スケジュール※令和６年1月22日までに導入、代金支払まで完了のこと |
| 【システム導入にあたって、検討段階から導入、運用までの実施体制を具体的に記載してください。また、本事業における実施スケジュールについて記載してください。】 |
| ⑥本事業により見込まれる効果等について（具体的に） |
| 【システム導入によってどれくらいの効果が見込まれるか等について記載してください。】※記載要領参照 |
| ⑦今後のDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組み予定 |
|  |

**（４）労働生産性向上計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | A．計画開始直前実績 | B．計画終了翌年度見込 | 計画開始直前実績比（％） |
| ①売上高（円） |  |  |  |
| ②営業利益（円） |  |  |  |
| ③人件費（円） |  |  |  |
| ④減価償却費（円） |  |  |  |
| ⑤付加価値額（②＋③＋④）　　（円） |  |  |  |
| ⑥従業員数（人） |  |  |  |
| ⑦実質延べ労働時間（時間） |  |  |  |
| ⑧労働生産性（⑤÷⑥） |  |  |  |

※労働生産性とは「労働者が1人（1時間）で生み出す成果」の指標をいいます。労働生産性は、⑤付加価値額／従業員数や付加価値額／実質延べ労働時間など自社に適した方法で算出してください。

|  |
| --- |
| 労働生産性向上の説明 |
|  |